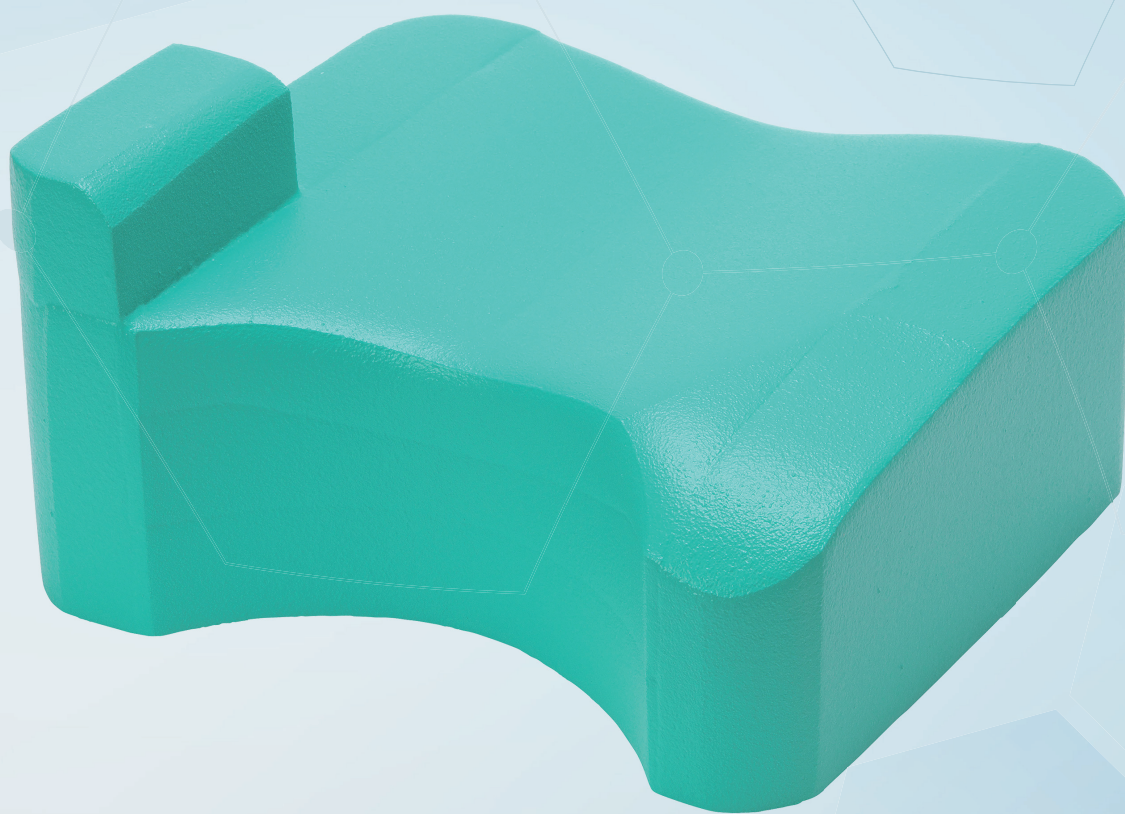


内視鏡検査・治療用まくら

ENDOPILLOW

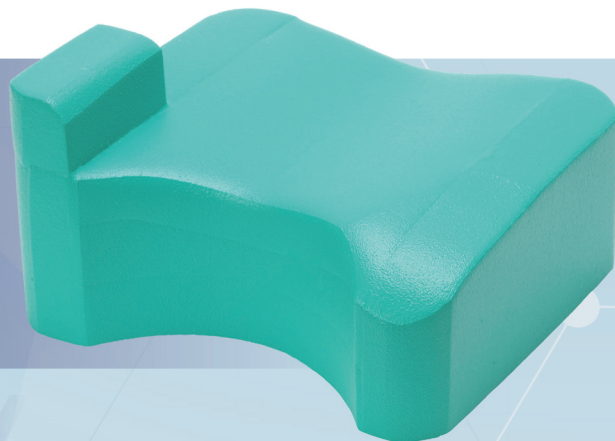
エンドピロー



内視鏡検査・治療用まくら

ENDOPILOW

エンドピロー



ENDOPILOW 3つの特徴

1

検査・治療時の頭部安定性

医師・内視鏡検査技師からの発案により、後頭部側に固定部（コブ）をつけました。

これにより、頭部が安定することで、左側臥位での検査・治療が安全・簡便に行えます。

また3層構造の低反発素材を組み合わせることにより、患者様の頭部を優しく包み込み、検査・治療時の負担を軽減します。



2

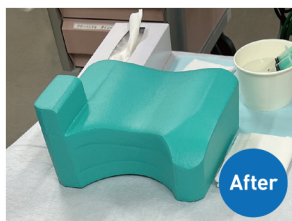
清拭可能

特殊なウレタンソフトコーティングにより、液体を弾くため衛生的に取り扱いが出来ます。

*アルコール清拭も可能です。

インジゴ散布

きれいに清拭できます



3

ゆるやかな傾斜

口元側はゆるやかな傾斜をつけており、唾液が内側に垂れ込むのを防ぎます。



国立がん研究センター中央病院内視鏡科 野中 哲 先生

検査・治療で用いる枕については関心が寄せられておらず、枕の高さや幅・形状は、工夫が施されていないのが現状です。

特に上部消化管内視鏡検査・治療は左側臥位で行われるため、脊椎ができるだけ直線になる高さが適切であり、頭部の安定性がとても重要です。

ENDOPILOWは、内視鏡検査・治療に特化した他に類を見ない製品であり、患者負担を軽減し、医療者にとって手技施行性を改善する、大変有益な「枕」です。

仕様

品番	EP-101
品名	エンドピロー
規格・サイズ	W280×D250×110mm
材質	本体/ポリウレタン製 外装/ウレタンコーティング
価格	¥38,000

※特注品1台より承ります。
※改良の為、写真とは若干異なる場合がございます。予めご確認下さい。



■ 内視鏡 検査・検診用まくら

今治まくら

「今治まくら」の特徴

①耳閉感が少ない

耳に当たる部分に穴が開いている為
耳閉感が少ないです。

②誤飲制御

口元の傾斜により唾液がスムーズに流れ出ます。
鎮静患者における誤飲予防効果があります。

③清拭可能

ディップコーティングによりアルコール清拭
が可能です。



■ 開発経緯 河本先生(川崎医科大学総合医療センター)からのコメント

内視鏡中、唾液が左の口角から出るのを患者が我慢して誤飲してしまうのを良く見かけます。これを防ぐことを考えて今治の町でデザインしました。枕に傾斜をつけ左耳の耳閉感を通気口で少なくしました。そうすると自然に患者の顔が正面からやや左方向に顔が向くようになります。それにより唾液が左の口角からスムーズに流れ出ます。吸水紙や膿盆を口元近くに置くことで流れ出た唾液を受けることができます。
鎮静下の患者では吸引の回数が減る為看護師の負担軽減につながります。

■ 仕様

品番	EP-201
品名	今治まくら
規格・サイズ	W:275xD:150xH:135mm
材質	塩ビウレタンフォーム ディップコーティング
価格	¥24,000
JANコード	4562127615957